



平成23年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年1月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 セブン&アイ・ホールディングス

コード番号 3382 URL <http://www.7andi.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 最高執行責任者 (氏名) 村田 紀敏

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 最高財務責任者 (氏名) 氏家 忠彦

TEL 03-6238-3000

四半期報告書提出予定日 平成23年1月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年2月期第3四半期の連結業績(平成22年3月1日～平成22年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年2月期第3四半期	3,825,557	0.2	175,752	3.0	176,188	3.4	90,220	30.1
22年2月期第3四半期	3,816,181	—	170,653	—	170,446	—	69,348	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年2月期第3四半期	101.56	101.52
22年2月期第3四半期	76.76	76.74

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年2月期第3四半期	3,672,103	1,763,221	46.0	1,910.58
22年2月期	3,673,605	1,793,940	46.9	1,905.97

(参考) 自己資本 23年2月期第3四半期 1,687,933百万円 22年2月期 1,721,967百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年2月期	—	28.00	—	28.00	56.00
23年2月期	—	28.00	—	—	—
23年2月期 (予想)	—	—	—	28.00	56.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年2月期の連結業績予想(平成22年3月1日～平成23年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,140,000	0.6	240,000	5.9	237,000	4.4	100,000	122.8	112.57

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.5「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む） 23年2月期3Q 886,441,983株 22年2月期 906,441,983株

② 期末自己株式数 23年2月期3Q 2,975,240株 22年2月期 2,983,875株

③ 期中平均株式数（四半期累計） 23年2月期3Q 888,328,134株 22年2月期3Q 903,458,115株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想は、本資料の発表日現在における将来の見通し、計画のもととなる前提、予測を含んで記載しております。実際の業績は、今後様々な要因によって本資料に記載した予想とは異なる可能性があります。

【添付資料】

〔目次〕

1.当四半期決算に関する定性的情報	
(1)連結経営成績に関する定性的情報	2
(2)連結財政状態に関する定性的情報	4
(3)連結業績予想に関する定性的情報	5
2. その他	
(1)重要な子会社の異動の概要	5
(2)簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	5
(3)会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	5
3. 四半期連結財務諸表	
(1)四半期連結貸借対照表	6
(2)四半期連結損益計算書	8
(3)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4)継続企業の前提に関する注記	11
(5)セグメント情報	11
(6)株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

① 当第3四半期連結累計期間(平成22年3月1日～平成22年11月30日)の業績概況

当第3四半期連結累計期間における国内の小売業を取り巻く環境は、企業収益の改善傾向を受けて個人消費に一部持ち直しの動きが見られたものの、頻度品を中心とした物価の緩やかな下落が続くなど、依然として弱含みのまま推移いたしました。

このような環境の中、当第3四半期連結累計期間における当社の連結業績は以下のとおりとなりました。

営業収益は、国内のスーパーストア及び百貨店事業の売上が伸び悩んだものの、北米のコンビニエンスストア事業におけるガソリン単価が上昇したことなどにより3兆8,255億5千7百万円(前年同期比0.2%増)となりました。営業利益は、主に国内コンビニエンスストア事業の増益により1,757億5千2百万円(同3.0%増)となりました。また、経常利益は、1,761億8千8百万円(同3.4%増)、四半期純利益は、特別利益の増加により902億2千万円(同30.1%増)となりました。

(単位:百万円)

	平成22年2月期第3四半期		平成23年2月期第3四半期	
		前年同期比		前年同期比
営業収益	3,816,181	11.8%減	3,825,557	0.2%増
営業利益	170,653	21.8%減	175,752	3.0%増
経常利益	170,446	21.4%減	176,188	3.4%増
四半期純利益	69,348	31.8%減	90,220	30.1%増
為替レート	US\$1=94.96円		US\$1=89.49円	
	1元=13.89円		1元=13.09円	

② 事業の種類別セグメントの営業概況

コンビニエンスストア事業

コンビニエンスストア事業における営業収益は1兆5,556億3千6百万円(前年同期比4.2%増)、営業利益は1,566億4千5百万円(同6.5%増)となりました。

国内におきましては、(株)セブン・イレブン・ジャパンが平成22年11月末時点で38都道府県において12,985店舗(前期末比232店舗増)を展開しております。販売面では、高齢化や働く女性の増加といった社会の変化に対応した「近くて便利なお店」の実現に向けて、質の高いファスト・フード商品の開発に引き続き注力するとともに、グループのプライベートブランド商品「セブンプレミアム」を中心とした頻度品の品揃えを強化いたしました。当第3四半期は10月のタバコ増税に伴う売上の変動が大きかったものの、ファスト・フード商品を中心としたデイリー品の継続的な売上改善により、既存店売上高伸び率は前年を上回って推移いたしました。なお、自営店と加盟店の売上を合計した国内チェーン全店売上高は2兆2,167億2千6百万円(前年同期比4.6%増)となりました。

北米におきましては、7-Eleven, Inc.が平成22年9月末時点でフランチャイズ店の4,885店舗(前期末比236店舗増)を含む6,505店舗(同116店舗増)を展開しております。ファスト・フード商品やプライベートブランド商品の開発及び販売に引き続き注力したことにより、ドルベースの米国既存店商品売上高伸び率は前年を上回りました。なお、全体の売上高は為替の円高影響はあったものの、主にガソリン単価の伸長により1兆1,055億2千4百万円(前年同期比4.8%増)となりました。

中国におきましては、セブン・イレブン北京有限会社が平成22年9月末時点で91店舗(前期末比1店舗減)を展開しており、89店舗は北京市内にて、2店舗は天津市内にてそれぞれ運営しております。

スーパーストア事業

スーパーストア事業における営業収益は1兆4,672億4千8百万円(前年同期比2.2%減)、営業利益は13億7千万円(同59.6%減)となりました。

国内の総合スーパーにおきましては、㈱イトーヨーカ堂が平成22年11月末時点で171店舗(前期末比3店舗減)を運営しております。衣料品分野では、機能性肌着等のオリジナル商品の開発・販売を強化するとともに、婦人衣料の新しいブランドを立ち上げました。また販売面では、食品を中心とした頻度品におきまして値頃感のある品揃えを強化したことに加え、カード会員様向けのセールを強化いたしました。しかしながら、消費者の節約志向が依然として強いことに加え、残暑の影響などから特に衣料品の売上が弱含みで推移したことにより、既存店売上高伸び率は前年割れとなりました。

国内の食品スーパーにおきましては、平成22年11月末時点で㈱ヨークベニマルが東北地方を中心に169店舗(前期末比5店舗増)、㈱ヨークマートが首都圏に65店舗(同3店舗増)を運営しております。㈱ヨークベニマルでは「セブンプレミアム」の積極的な販売を継続するとともに、売場におけるメニュー提案を強化したものの、東北地方を中心とした経済環境の影響などから、売上は厳しいまま推移いたしました。

中国におきましては、平成22年9月末時点で北京市に総合スーパー8店舗(前期末比1店舗減)と食品スーパー1店舗、四川省成都市に総合スーパー4店舗をそれぞれ展開しております。

百貨店事業

百貨店事業における営業収益は6,608億9千3百万円(前年同期比1.3%減)、営業損失は21億2千万円となりました。

百貨店事業におきましては、基幹店舗を中心とした店舗改装による売場の活性化と営業力の強化を図るとともに、カード会員様向けの販売促進を積極的に実施いたしました。最大の基幹店舗である西武池袋本店は平成19年から3年に亘って進めてきた改装を完了し、平成22年9月にグランドオープンいたしました。残暑の影響などから衣料品の売上が苦戦したものの、西武池袋本店の改装効果もあり、既存店売上高伸び率は前年並みまで回復いたしました。

フードサービス事業

フードサービス事業における営業収益は606億2百万円(前年同期比7.9%減)、前期から17億3千3百万円改善の3億1千3百万円の営業損失となりました。

フードサービス事業におきましては、収益性の改善に向けた経費削減を進める中、レストラン事業部門におきまして不採算店舗を中心に39店舗の閉鎖を実施いたしました。夏場の天候が良好に推移したことに加え、主力アイテムのメニュー強化による既存店舗の活性化や販売促進の強化が奏功し、既存店売上高伸び率は前年を上回りました。

金融関連事業

金融関連事業における営業収益は813億9千2百万円(前年同期比3.4%減)、営業利益は221億1千3百万円(同6.9%減)となりました。

㈱セブン銀行におきましては、平成22年11月末時点のATM設置台数が15,059台(前期末比489台増)まで拡大いたしました。主に法改正に伴う貸金業提携先のキャッシング取引件数の減少により、当第3四半期連結累計期間中の1日1台当たり平均利用件数につきましては114.2件(前年同期差1.2件減)となりました。一方、グループの電子マネー「nanaco(ナナコ)」の発行総件数は㈱セブン・イレブン・ジャパンにおけるキャンペーンが奏功したことなどにより、約1,239万件(前期末比約259万件増)と伸長いたしました。

その他の事業

その他の事業における営業収益は255億1千7百万円(前年同期比0.6%増)、営業損失は13億4千8百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(連結財政状態)

総資産は、㈱セブン&アイ・アセットマネジメントにおける西武池袋本店の土地建物等を取得したことに伴う増加があった一方で、7-Eleven, Inc.を連結する際の為替レートが円高になったことなどにより前期末に比べ 15 億 1 百万円減の 3 兆 6,721 億 3 百万円となりました。負債は、当社における社債の発行に伴う増加などにより、前期末に比べ 292 億 1 千 7 百万円増の 1 兆 9,088 億 8 千 2 百万円となりました。純資産は、四半期純利益による増加に対し、自己株式の消却に伴う資本剰余金の減少と為替換算調整勘定の減少などにより、前期末に比べ 307 億 1 千 9 百万円減の 1 兆 7,632 億 2 千 1 百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成 22 年 2 月期末	平成 23 年 2 月期 第 3 四半期末	増減
総資産	3,673,605	3,672,103	△1,501
負債	1,879,664	1,908,882	29,217
純資産	1,793,940	1,763,221	△30,719

(連結キャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益などにより、2,309 億 7 千 5 百万円の収入となりました。投資活動によるキャッシュ・フローは、店舗の新規出店や改装に伴う有形固定資産の取得による支出や㈱セブン&アイ・アセットマネジメントにおける西武池袋本店の土地建物等の取得に伴う支出などにより 2,388 億 1 千 6 百万円の支出となりました。財務活動によるキャッシュ・フローは、当社における社債の発行による収入があった一方で、配当金の支払や自己株式取得による支出、㈱イトーヨーカ堂における社債の償還による支出があったことなどにより 382 億 9 千 1 百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第 3 四半期末残高は 6,687 億 4 千 2 百万円となりました。

(単位:百万円)

	平成 22 年 2 月期 第 3 四半期	平成 23 年 2 月期 第 3 四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,322	230,975	20,653
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,746	△238,816	△140,069
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,812	△38,291	90,521
現金及び現金同等物の四半期末残高	647,427	668,742	21,315

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年2月期の通期連結業績予想につきましては、平成22年10月7日発表の業績予想から変更はありませんが、事業の種類別セグメント営業収益と営業利益の予想のみ修正しております。

(事業の種類別セグメント営業収益・営業利益予想)

(単位:百万円)

	平成23年2月期			
	営業収益		営業利益	
		前期比		前期比
コンビニエンスストア事業	2,025,000	2.9%増	194,000	5.5%増
スーパーストア事業	2,010,000	0.3%減	13,500	4.8%減
百貨店事業	918,000	0.5%減	7,000	412.2%増
フードサービス事業	79,000	8.6%減	△500	—
金融関連事業	107,000	3.1%減	27,500	8.8%減
その他の事業	35,000	4.0%増	△500	—
計	5,174,000	0.7%増	241,000	6.0%増
消去又は全社	△34,000	—	△1,000	—
合計	5,140,000	0.6%増	240,000	5.9%増

2. その他

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

1) たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、第2四半期連結会計期間末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算出する方法によっております。

2) 繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法

繰延税金資産の回収可能性の判断に関しては、前連結会計年度末以降に経営環境等、かつ、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められますので、前連結会計年度において使用した将来の業績予測やタックス・プランニングを利用する方法によっております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	557,347	691,633
受取手形及び売掛金	150,794	119,627
営業貸付金	64,906	68,243
有価証券	137,034	55,025
商品及び製品	171,978	158,889
仕掛品	112	16
原材料及び貯蔵品	2,775	2,489
前払費用	35,530	31,606
繰延税金資産	34,438	28,360
その他	229,045	308,716
貸倒引当金	△4,598	△4,421
流動資産合計	1,379,366	1,460,186
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	523,251	485,081
工具、器具及び備品 (純額)	125,327	133,215
土地	567,504	520,320
リース資産 (純額)	12,723	4,485
建設仮勘定	33,418	52,495
その他 (純額)	483	110
有形固定資産合計	1,262,709	1,195,709
無形固定資産		
のれん	178,047	197,126
ソフトウェア	35,424	34,767
その他	119,599	65,638
無形固定資産合計	333,072	297,531
投資その他の資産		
投資有価証券	158,691	168,850
長期貸付金	19,227	19,657
前払年金費用	10,508	12,149
差入保証金	429,389	438,028
建設協力金	8,922	15,507
繰延税金資産	25,887	26,134
その他	51,158	46,693
貸倒引当金	△6,906	△6,903
投資その他の資産合計	696,878	720,118
固定資産合計	2,292,659	2,213,359
繰延資産		
創立費	76	58
繰延資産合計	76	58
資産合計	3,672,103	3,673,605

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年11月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年2月28日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	340,075	292,628
短期借入金	133,400	151,200
1年内返済予定の長期借入金	150,075	79,155
1年内償還予定の社債	100	20,385
未払法人税等	30,186	42,255
未払費用	99,294	76,692
預り金	118,527	173,937
販売促進引当金	15,985	13,134
賞与引当金	4,144	14,377
役員賞与引当金	184	269
商品券回収損引当金	2,955	4,058
銀行業における預金	205,694	185,745
その他	181,717	209,531
流動負債合計	1,282,340	1,263,370
固定負債		
社債	299,971	190,068
長期借入金	157,112	244,470
コマーシャル・ペーパー	10,620	16,208
繰延税金負債	35,747	38,343
退職給付引当金	3,493	3,493
役員退職慰労引当金	2,277	2,490
長期預り金	56,689	55,827
その他	60,630	65,391
固定負債合計	626,541	616,293
負債合計	1,908,882	1,879,664
純資産の部		
株主資本		
資本金	50,000	50,000
資本剰余金	526,899	576,072
利益剰余金	1,212,497	1,172,263
自己株式	△7,312	△9,270
株主資本合計	1,782,084	1,789,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	3,522	3,227
繰延ヘッジ損益	△337	△549
為替換算調整勘定	△97,336	△69,776
評価・換算差額等合計	△94,151	△67,097
新株予約権	981	721
少数株主持分	74,306	71,251
純資産合計	1,763,221	1,793,940
負債純資産合計	3,672,103	3,673,605

（2）四半期連結損益計算書
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）	当第3四半期連結累計期間 （自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）
営業収益	3,816,181	3,825,557
売上高	3,392,149	3,379,155
売上原価	2,494,165	2,508,928
売上総利益	897,983	870,227
その他の営業収入	424,032	446,402
営業総利益	1,322,016	1,316,629
販売費及び一般管理費	1,151,363	1,140,877
営業利益	170,653	175,752
営業外収益		
受取利息	4,071	3,932
持分法による投資利益	1,108	1,405
その他	3,308	3,216
営業外収益合計	8,488	8,554
営業外費用		
支払利息	4,892	3,908
社債利息	1,737	1,789
その他	2,064	2,419
営業外費用合計	8,694	8,117
経常利益	170,446	176,188
特別利益		
固定資産売却益	485	414
投資有価証券売却益	523	140
受贈益	—	7,000
匿名組合清算益	—	8,305
地区再開発事業補助金収入	—	3,590
その他	947	1,209
特別利益合計	1,957	20,660
特別損失		
固定資産廃棄損	3,969	5,215
減損損失	12,661	14,296
その他	6,495	8,081
特別損失合計	23,126	27,594
税金等調整前四半期純利益	149,277	169,253
法人税、住民税及び事業税	75,532	77,027
法人税等調整額	△5,782	△4,979
法人税等合計	69,749	72,048
少数株主利益	10,179	6,985
四半期純利益	69,348	90,220

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年3月1日 至平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年3月1日 至平成22年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	149,277	169,253
減価償却費	98,276	97,588
減損損失	12,661	14,296
受取利息	△4,071	△3,932
支払利息及び社債利息	6,630	5,698
持分法による投資損益(△は益)	△1,108	△1,405
固定資産売却益	△485	△414
固定資産廃棄損	3,969	5,215
匿名組合清算益	—	△8,305
地区再開発事業補助金収入	—	△3,590
売上債権の増減額(△は増加)	△29,149	△32,477
営業貸付金の増減額(△は増加)	5,361	3,336
たな卸資産の増減額(△は増加)	△7,482	△16,922
仕入債務の増減額(△は減少)	33,372	51,336
預り金の増減額(△は減少)	5,723	△19,241
銀行業における借入金の純増減(△は減少)	△26,000	△10,700
銀行業における社債の純増減(△は減少)	30,000	—
銀行業における預金の純増減(△は減少)	8,141	19,948
銀行業におけるコールローンの純増減(△は増加)	△30,000	△24,000
銀行業におけるコールマネーの純増減(△は減少)	△11,500	△51,600
ATM未決済資金の純増減(△は増加)	39,358	71,068
その他	38,691	43,306
小計	321,665	308,460
利息及び配当金の受取額	3,761	2,485
利息の支払額	△6,907	△5,805
法人税等の支払額	△108,197	△74,165
営業活動によるキャッシュ・フロー	210,322	230,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△112,594	△199,139
有形固定資産の売却による収入	41,175	2,890
無形固定資産の取得による支出	△9,073	△70,225
投資有価証券の取得による支出	△214,617	△194,141
投資有価証券の売却による収入	189,362	204,542
貸付けによる支出	△6,187	△401
貸付金の回収による収入	577	1,095
差入保証金の差入による支出	△22,731	△20,182
差入保証金の回収による収入	21,949	30,297
預り保証金の受入による収入	2,094	4,957
預り保証金の返還による支出	△4,366	△3,538
子会社の自己株式の取得による支出	—	△772
匿名組合清算による収入	—	8,305

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日)
地区再開発事業補助金による収入	—	1,045
定期預金の預入による支出	—	△5,066
譲渡性預金の預入による支出	—	△45,000
定期預金の払戻による収入	—	12,698
譲渡性預金の払戻による収入	—	40,000
その他	15,664	△6,180
投資活動によるキャッシュ・フロー	△98,746	△238,816
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△8,700	△6,100
長期借入れによる収入	35,000	28,844
長期借入金の返済による支出	△47,851	△46,422
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	203,451	276,762
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△204,697	△278,819
社債の発行による収入	—	109,624
社債の償還による支出	△50,592	△20,385
自己株式の取得による支出	—	△47,284
配当金の支払額	△51,121	△49,745
少数株主への配当金の支払額	△2,091	△2,123
その他	△2,210	△2,643
財務活動によるキャッシュ・フロー	△128,812	△38,291
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,742	△2,445
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△15,495	△48,577
現金及び現金同等物の期首残高	663,483	717,320
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	△560	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	647,427	668,742

表示方法の変更

（連結キャッシュ・フロー計算書）

- 投資活動によるキャッシュ・フローの「定期預金の預入による支出」、「譲渡性預金の預入による支出」、「定期預金の払戻による収入」および「譲渡性預金の払戻による収入」は前第3四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増しているため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「定期預金の預入による支出」、「譲渡性預金の預入による支出」、「定期預金の払戻による収入」および「譲渡性預金の払戻による収入」はそれぞれ△26,812百万円、△55,000百万円、16,669百万円および87,000百万円であります。
- 財務活動によるキャッシュ・フローの「自己株式の取得による支出」は前第3四半期連結累計期間において「その他」に含めて表示しておりましたが、重要性が増したため、当第3四半期連結累計期間より区分掲記しております。なお、前第3四半期連結累計期間の「その他」に含まれている「自己株式の取得による支出」は△15百万円であります。

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）

（単位：百万円）

	コンビニ エンス ストア	スーパー ストア	百貨店	フード サービス	金融関連	その他	計	消去又は 全社	連結
営業収益および営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	1,491,898	1,497,727	669,690	65,046	72,723	19,094	3,816,181	—	3,816,181
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	505	2,877	193	777	11,518	6,262	22,135	△ 22,135	—
計	1,492,403	1,500,605	669,884	65,823	84,241	25,357	3,838,316	△ 22,135	3,816,181
営業費用	1,345,293	1,497,210	672,127	67,870	60,478	24,401	3,667,382	△ 21,853	3,645,528
営業利益又は営業損失(△)	147,110	3,394	△ 2,243	△ 2,046	23,762	956	170,934	△ 281	170,653

当第3四半期連結累計期間（自平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）

（単位：百万円）

	コンビニ エンス ストア	スーパー ストア	百貨店	フード サービス	金融関連	その他	計	消去又は 全社	連結
営業収益および営業損益									
営業収益									
(1) 外部顧客に対する 営業収益	1,555,218	1,460,974	660,183	59,877	70,986	18,317	3,825,557	—	3,825,557
(2) セグメント間の内部 営業収益又は振替高	417	6,274	710	724	10,406	7,200	25,732	△ 25,732	—
計	1,555,636	1,467,248	660,893	60,602	81,392	25,517	3,851,290	△ 25,732	3,825,557
営業費用	1,398,990	1,465,877	663,014	60,915	59,279	26,866	3,674,944	△ 25,138	3,649,805
営業利益又は営業損失(△)	156,645	1,370	△ 2,120	△ 313	22,113	△ 1,348	176,346	△ 594	175,752

(注) 1. 事業の区分は、提供する商品とサービス及び販売形態により区分しております。

2. 各事業区分の主な内容

- | | |
|------------------|--|
| (1) コンビニエンスストア事業 | セブン-イレブンの名称による直営方式及びフランチャイズ方式によるコンビニエンスストア |
| (2) スーパーストア事業 | 総合スーパー、食品スーパー、専門店等 |
| (3) 百貨店事業 | 株式会社そごう・西武を中心とした百貨店事業 |
| (4) フードサービス事業 | レストラン事業、コントラクトフード事業(社員食堂、病院、学校などにおける給食サービスの受託)、ファストフード事業 |
| (5) 金融関連事業 | 銀行、クレジットカード、リース等 |
| (6) その他の事業 | IT事業、サービス等 |

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成21年3月1日至平成21年11月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益および営業損益						
営業収益						
(1)外部顧客に対する						
営業収益	2,679,200	1,079,274	57,707	3,816,181	—	3,816,181
(2)セグメント間の内部						
営業収益又は振替高	271	2,161	—	2,432	△ 2,432	—
計	2,679,471	1,081,435	57,707	3,818,614	△ 2,432	3,816,181
営業費用	2,534,658	1,057,596	55,753	3,648,008	△ 2,479	3,645,528
営業利益	144,813	23,839	1,953	170,606	46	170,653

当第3四半期連結累計期間(自平成22年3月1日至平成22年11月30日) (単位:百万円)

	日本	北米	その他の地域	計	消去	連結
営業収益および営業損益						
営業収益						
(1)外部顧客に対する						
営業収益	2,629,444	1,132,234	63,879	3,825,557	—	3,825,557
(2)セグメント間の内部						
営業収益又は振替高	322	2,196	—	2,518	△ 2,518	—
計	2,629,766	1,134,430	63,879	3,828,076	△ 2,518	3,825,557
営業費用	2,478,546	1,111,283	62,514	3,652,345	△ 2,539	3,649,805
営業利益	151,219	23,146	1,364	175,731	20	175,752

(注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。

2. その他の地域に属する国は、中国であります。

【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間（自 平成21年3月1日 至 平成21年11月30日）（単位:百万円）

	北米	その他の地域	合計
I 海外営業収益	1,079,274	57,707	1,136,981
II 連結営業収益	—	—	3,816,181
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	28.3	1.5	29.8

当第3四半期連結累計期間（自 平成22年3月1日 至 平成22年11月30日）（単位:百万円）

	北米	その他の地域	合計
I 海外営業収益	1,132,234	63,879	1,196,113
II 連結営業収益	—	—	3,825,557
III 連結営業収益に占める 海外営業収益の割合(%)	29.6	1.7	31.3

- (注) 1. 国または地域の区分は、地理的近接度によっております。
 2. その他の地域に属する国は、中国であります。
 3. 海外営業収益は、連結子会社の本邦以外の国または地域における売上高およびその他の営業収入の合計額
 であります。

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
 該当事項はありません。